

令和5年6月1日（木）

# 魚沼きこえの教室だより

令和5年度 第2号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：高橋 登

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

Tel:025-792-5462 fax:025-792-5465

mail:takahashi.noboru@nein.ed.jp

小学校や中学校で学んでいる難聴児童生徒への理解と支援をありがとうございます。

さて、毎年4～6月にかけて学校では健康診断が行われていますが、その中に聴力測定があります。皆さんの学校の測定結果で「難聴の疑い」があった児童生徒はいませんでしたか？



まずは医療機関で詳しく診てもらいましょう。そして、医療機関で「軽度難聴」「難聴の疑い」「片耳の難聴」などの診断があった人は、要注意です。「軽度だから大丈夫」「片方が聞こえているから大丈夫」と済ませてはいけません。「軽度難聴」「片耳難聴」でも日常生活で不便を感じることもあるのです。定期的に聴力測定をし、聴力に変動がないかどうか確認していく必要があります。

## 見つけにくい軽度難聴

軽度の難聴がある子どもは、呼べば振り返るし、近い距離での会話は応答できます。一見「聞こえにくい子ども」には見えません。ただ、注意深く見ると、会話の細かなところを聞き逃したり、聞き間違えたりしていることがあります。「声としては聞こえても、ことばとしては分かりにくい」ことがあるのです。それは「ことばの聞き取りを阻害する要因」があるかないかによって大きく変わります。

例えば、静かな場所での1対1の会話は分かりやすいです。

しかし、騒音下で、大勢の人がいる状況で、初めて聞く内容の話となると、分かりにくくなります。そのため、保育園や学校等の集団の場での話は分かりにくく、家庭での会話は分かりやすいということなのです。

家族が、難聴に気づきにくいのも、このためかもしれません。

## ことばの聞き取りを阻害する要因

- ・ 声が小さい
- ・ 距離が離れている
- ・ 周囲の騒音が大きい
- ・ 早口で話す
- ・ 口元が見えない
- ・ 話し手の人数が多い
- ・ 使われることばが難しい
- ・ 話題がつかめない（難しい）

## 魚沼地域子どものきこえ相談室

魚沼市、南魚沼市、湯沢町と長岡聾学校では、今年度も「魚沼地域子どものきこえ相談室」を開設します。以下の期日に、0～15歳のお子さんのきこえに関する相談を長岡聾学校小出分教室を会場として行っています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
なし	12日	9日	14日	なし	8日
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13日	10日	8日	12日	9日	8日

いずれも金曜日

①13:30～

②15:00～

（1人あたり1時間程度）

- ・ 発音に不明瞭さがある。 ・ 呼んでも振り向かない、反応が鈍い、聞き返しが多い。
- ・ 毎年のように学校の測定で結果が良くない。 ・ 軽度難聴、片耳難聴の疑いがあるとされた。

このような児童生徒がいましたら、別紙のチラシできこえ相談を紹介していただきたいと思います。聴力測定と園や学校生活での配慮や支援について相談します。

当きこえの教室では、魚沼市と南魚沼市の小中学校、特別支援学校に在籍している難聴児童生徒の通級指導と在籍校へのサテライト訪問を行っています。今年度は魚沼市13名、南魚沼市12名の子どもたちが月1～2回程度、在籍校の授業終了後に当教室で学んでいます。

